

# 子供の自主性を大切に

## || 過保護と過干渉の戒め ||

しつけとは、子供の自主性を重じながら、日常生活に必要な行動様式を習慣づけることと頭ではわかっていても、実際は、わが子かわいさのあまり甘やかすすぎる、つまり過保護になったり、逆に親の理想とする子供像に近づけようとして、厳しすぎる統制、いわゆる過干渉になったりしがちです。

過保護と過干渉、この二つのしつけに共通していることは、子供の「自主性」を育てる上でほとんど役立っていないことです。

甘やかすのも厳しくするのもほどほどに――。

# 新学期をひかえて

## 自己中心になりがち

### 過保護のしつけ

過保護になつてはいけなと思  
いながらも、ついつい世話をやき  
すぎてしまうのも、親ならばこそ  
の心理といえましょう。

子供の性格形成にどうい  
う影響を  
与えるかといえますと、まず「子  
供のいいなり」になっていると、  
子供は、自己中心的で自分勝手な  
行動をとることが多くなり、学校  
などの集団生活に必要な協調性を  
欠くようになりがちです。

なお及ばざるがごとしで、過保  
護も、子供の育成によい結果をも  
たらさない場合が多いようです。  
過保護とは、子供のいいなりにな  
ったり、子供が自分でしなければ  
ならないことまで親がやってしま  
う、一方的なサービス過剰の親子  
関係をいいます。



このような過保護のしつけは、

また、「世話のやきすぎ」は、子  
供が自分で考え、行動する自主的  
な生活経験のチャンスを少なくさ  
せることになりがちです。

この結果、社会生活にスムーズ  
に適應できなかつたり、自分では  
責任をもとうとしない依頼心の強

## 二面性をもった性格も 過干渉のしつけ

しつけを習慣づけと考えると、  
ある面では、半ば強制的にならざ  
るをえないことがあるのも確かだ  
です。ことに幼児期には、厳格なし  
つけ、干渉は、子供の人間形成に  
とって極めて重要な意味をもつて  
います。

ただ、問題はその度合いです。  
厳しすぎる強制過干渉は、過保護  
と同じように、子供の性格形成に  
いい影響を与えない場合が多いよ  
うです。

過干渉の場合、親の理想とする  
子供像に近づけるため、「こうし  
なさい」「やめなさい」「いけま  
せん」といったような命令・禁止  
拒否のことがばや態度が、しつけの  
中心になりがちです。

子供は、親のいう通りにしない  
としかかれ、時には体罰をも加え  
られるということになると、親の

い性格になりがちです。

しつけは、子供自身、自らの意  
欲にかられて行動するようにしむ  
けてこそ、自主性が育ちます。

まず、子供の身になって考える。  
これが上手なしつけのコツです。

前では、服従的で、素直な「よい  
子」になろうとします。

自我をおさえ、主張をかくし、  
悪くすると二面性をもった性格に  
ならないとも限りません。

親の強制に合わせるだけなら本  
当の意味での「適應」にならない  
ばかりか、「習慣づけ」に大切な

自主性も育ちません。

親が子供をしかつたり、世話を  
やいたりする場合、あくまでも子  
供の自主的な行動を促す程度にと  
どめるほうが、しつけのコツとい  
えるでしょう。



## 運転免許取得 講習会を開きます

町社会福祉協議会善意銀行では、  
講師に橋場の、椎名隆先生を招い  
て、原付自転車・耕運機運転免許  
取得法規講習会を開催いたします。

この運転免許がなく、不自由さ  
れている方は、この機会に是非受  
講され、一人でも多くの方が免許  
を取得されるようご利用ください。  
講習日は次のとおりです。

※講習日

三月二十四日午後一時～午後四時  
まで。

三月二十五日午前九時～午後四時  
まで。

※場 所 役場二階第二会議室

※受講料

無料 但しテキスト代五百円

※持参品 筆記具

※受講手続

厚生課福祉係にある申込用紙に記  
入のうえ、同係へ申し込みくださ  
い。

尚、電話・有線でも申し込み受  
付をします。

電 (4) 一二一三  
有 二〇四一〇三

